

小学校第2学年 単元別たしかめテスト9

単元名 [たし算とひき算のひっ算(2) (啓林館)] [たし算とひき算のひっ算 (東京書籍)]

①~⑥ (/6) 技能
 ⑦~⑨ (/3) 考え方
 得点 (/9)

2年 ()組 ()番 名前 ()

○ つぎの 計算を ひっ算でしましょう。

① $46 + 57$

② $348 + 15$

③ $534 - 26$

④ $103 - 29$

⑤ $738 + 96$

⑥ $230 - 38$

[①~⑥技能]

○ あきらさんは 百円玉 2こ と 五十円玉 1こ を もって かいものに行きました。



えんぴつ 82円



ノート 157円



けしゴム 95円



ハサミ 199円

⑦ けしゴムと ハサミを かうと あわせて なん円に なるでしょう。ひっ算で計算し
 ましょう。

しき

こたえ

⑧ ノートを かって 200円 はらいました。おつりは いくらでしょう。ひっ算
 で計算しましょう。

しき

こたえ

⑨ あきらさんは ノートと けしゴムを いっしょに かうことが できるでしょう
 か。どちらかに ○を つけましょう。そのわけを しきや ことばで かきましょう。

	わけ
できる	
できない	

[⑦~⑨考え方]

小学校第2学年 単元別たしかめテスト9 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔7 たし算とひき算のひっ算(2) (啓林館P94~P107)〕 〔9 たし算とひき算のひっ算 (東京書籍P85~P97)〕							
〈学習指導要領〉		(2) 加法及び減法についての理解を深め, それらを用いる能力を伸ばす。 ア 2位数の加法及びその逆の減法の計算の仕方を考え, それらの計算が1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し, それらの計算が確実にできること。また, それらの筆算の仕方について理解すること。 イ 簡単な場合について, 3位数などの加法及び減法の計算の仕方を考えること。 ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ, それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。							
A 数と計算									
問題番号		解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	繰り上がりが2回のたし算の筆算が確実にできる。	103		○			○		90%
②	百の位への繰り上がりがない場合の, 3位数+2位数の筆算をすることができる。	363		○			○		90%
③	繰り下がり1回で, 十の位が空位になるひき算の筆算が確実にできる。	508		○			○		90%
④	繰り下がり2回で, ひかれる数の十の位が空位の場合のひき算の筆算が確実にできる。	74		○			○		90%
⑤	繰り上がりが2回のたし算の筆算が確実にできる。	838		○			○		90%
⑥	繰り下がり2回ある場合のひき算の筆算が確実にできる。	192		○			○		90%
⑦	条件に合う式を立て, 筆算を用いて答えを求めることができる。	$95 + 199 = 294$ 筆算は省略 294円	○				○		80%
⑧	条件に合う式を立て, 筆算を用いて答えを求めることができる。	$200 - 157 = 43$ 筆算は省略 43円	○				○		80%
⑨	条件に合うかどうかを, 計算を通して判断することができる。	できない ノートとけしゴムをかうと $157 + 95 = 252$ 円 もっていったお金の250円よりも高いので, 買うことはできない。	○					○	70%
合 計 9 問			3	6	0	0	8	1	86%

単元名 [計算のじゅんじょ (啓林館)] [計算のくふう (東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③④ (/ 2) 技能	⑤~⑧ (/ 4) 考え方	得点 (/ 8)
2年 ()組 ()番 名前 ()				

○ つぎの しきで はじめに けいさんするのは (ア), (イ), (ウ) のどれでしょう。
きごうをかきましょう。

① $(23 + 7) + 3$

(ア) $23 + 7$ (イ) $23 + 3$ (ウ) $7 + 3$

② $5 + (6 + 4)$

(ア) $5 + 6$ (イ) $5 + 4$ (ウ) $6 + 4$

〔①②知識・理解〕

○ つぎの けいさんを しましょう。

③ $14 + (8 + 2)$

④ $68 + (16 + 4)$

〔③④技能〕

○ こうえんで 子どもが 18人 あそんで います。そこへ 7人 あそびに きました。また 3人 あそびに きました。子どもは なん人に なりましたか。

このもんだいを 2とおりの しかたで かんがえましょう。
しきは 1つの しきで あらわしましょう。

⑤ 【じゅんに たして かんがえる しかた】

しき

こたえ

⑥ 【()を つかって あそびに きた 子どもを まとめて かんがえる しかた】

しき

こたえ

○ つぎの □の中に ことばや しきや 数を いれましょう。

⑦ $25 + (17 + 3)$ の けいさんの しかた

まず,

つぎに,

こたえは,

に なります。

○ $27 + 36 + 4$ の けいさんを します。



まず $27 + 36$ を けいさんしたが もっと かんたんにできる ほうほうが あったよ。

ただし

⑧ ただしさんは どのようなほうほうを かんがえたのでしょうか。
しきや ことばを つかって せつめいしましょう。

〔⑤~⑧考え方〕

小学校第2学年 単元別たしかめテスト10 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔8 計算のじゅんじょ（啓林館P112～P113）〕〔8 計算のくふう（東京書籍P79～P81）〕							
〈学習指導要領〉 A 数と計算		(2)加法及び減法についての理解を深め, それらを用いる能力を伸ばす。 ウ 加法及び減法に関して成り立つ性質を調べ, それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式		目標正答率	
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式		記述式
①	() を使った式の計算の順序を理解している。	ア			○	○		90%	
②	() を使った式の計算の順序を理解している。	ウ			○	○		90%	
③	$14 + (8 + 2)$ を正しく計算できる。	24		○			○	90%	
④	$68 + (16 + 4)$ を正しく計算できる。	88		○			○	90%	
⑤	題意をよみとり, 順にたす式を考えることができる。	$18 + 7 + 3 = 28$ 28人	○				○	80%	
⑥	題意をよみとり, () を使ってまとめてたす式を考えることができる。	$18 + (7 + 3) = 28$ 28人	○				○	80%	
⑦	$25 + (17 + 3)$ の計算の仕方を順序よく説明することができる。	(まず) $17 + 3$ を先に計算して, 20 (つぎに,) $25 + 20$ を計算する。 (こたえは) 45	○					○	70%
⑧	$27 + 36 + 4$ の計算で, 順序を工夫して計算する方法を説明することができる。	まず, $36 + 4$ を計算して, 40 つぎに, $27 + 40$ を計算した。	○					○	70%
合 計 8 問			4	2	2	2	4	2	83%

小学校第2学年 単元別たしかめテスト 11

単元名 [かけ算(1)(啓林館)] [かけ算(1)(東京書籍)]	①② (/ 2) 知識・理解	③~⑥ (/ 4) 技能	⑦~⑩ (/ 4) 考え方	得点 (/ 10)
2年()組()番 名前()				

○ □ に あてはまる しきを かきましょう。

① 5×4 と 答えが 同じになる 4のだんの 九九は □ です。

② 答えが 15に なる 九九は □ と □ です。

[①②知識・理解]

○ つぎの 計算を しましょう。


③ 5×9

④ 2×6

⑤ 3×8

⑥ 4×7

[③~⑥技能]

○  パンが 2こずつ ふくろに 入っています。

つぎの もんだいに 答えましょう。

⑦ 5ふくろ かうと パンは ぜんぶで なんこに なるでしょう。

しき

答え

⑧ 1ふくろ ふえると パンの 数は なんこ ふえるでしょう。

答え

○ つぎの もんだいに 答えましょう。

⑨ 車が ちゅうしゃじょうに 9だい とまっています。車の タイヤの 数は ぜんぶで いくつでしょう。1だいの車に タイヤは 4つ ついて います。

しき

答え

⑩ 3のだんの 九九を つかう かけ算の もんだいを つくりましょう。

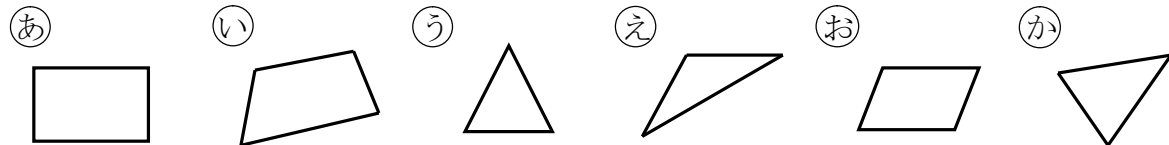
[⑦~⑩考え方]

小学校第2学年 単元別たしかめテスト11 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔9 かけ算(1) (啓林館下P2~P22)〕		〔11 かけ算(1) (東京書籍下P2~P24)〕					
〈学習指導要領〉		(3)乗法の意味について理解し, それを用いることができるようにする。							
A 数と計算		ア 乗法が用いられる場合について知ること。 イ 乗法に関して成り立つ簡単な性質を調べ, それを乗法九九を構成したり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。 ウ 乗法九九について知り, 1位数と1位数との乗法の計算が確実にできること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	乗数と被乗数を入れかえても, 積が同じになることを理解している。	4×5			○		○		90%
②	積が同じになる九九があることを理解している。	$3 \times 5, 5 \times 3$ (順不同)			○		○		80%
③	乗法九九を用いて 5×9 の計算が確実にできる。	45		○			○		90%
④	乗法九九を用いて 2×6 の計算が確実にできる。	12		○			○		90%
⑤	乗法九九を用いて 3×8 の計算が確実にできる。	24		○			○		90%
⑥	乗法九九を用いて 4×7 の計算が確実にできる。	28		○			○		90%
⑦	2こずつの5袋分ととらえて立式し, 答えを考えることができる。	$2 \times 5 = 10, 10$ こ	○				○		80%
⑧	乗法の性質をもとに, 1袋増えるとパンの数がいくつ増えるかを考えることができる。	2こ	○				○		80%
⑨	タイヤの数は, 4つの9台分ととらえて立式し, 答えを考えることができる。	$4 \times 9 = 36, 36$ こ	○				○		80%
⑩	3の段の九九を使う乗法の問題を考えることができる。	(例) あめを3こずつ7人のともだちにくばります。あめは全部で何こになるでしょう。	○					○	70%
合 計 10 問			4	4	2	0	9	1	84%

単元名〔三角形と四角形（啓林館）〕〔長方形と正方形（東京書籍）〕	①② (/ 2) 知識・理解	③④ (/ 2) 技能	⑤～⑨ (/ 5) 考え方	得点 (/ 9)
2年 () 組 () 番 名前 ()				

○ つぎの 形を 三角形と 四角形に わけましょう。



① 三角形 ② 四角形

【①②知識・理解】

○ 点と 点を 直線で つないで 三角形と 四角形を 1つずつ かきましょう。

③ 三角形 .	④ 四角形 .
--	--

【③④技能】

○ 下の 四角形の 紙を 2つに きります。つぎの 形をつくる時 どこを きればよいでしょう。 きるところに 直線を 一本かきましょう。

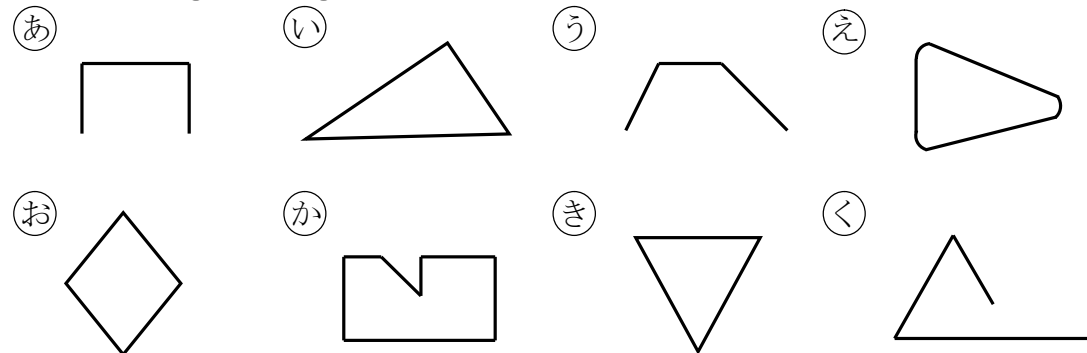
⑤ 2つの三角形 ⑥ 三角形と四角形

○ つぎの もんだいに こたえましょう。

⑦ この図は 三角形は なんこあるでしょう。



○ つぎの ③から ⑥までの 形について こたえましょう。



⑧ 三角形を えらんで きごうで こたえましょう。

⑨ まさこさんは 「(か)と(く)は 三角形でもなく 四角形でもない 形ね。」と いました。まさこさんの いっていることは 正しいですか こたえましょう。 また そのわけも かきましょう。

(正しい 正しくない)

(わけ)

【⑤～⑨考え方】

小学校第2学年 単元別たしかめテスト12 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔11 三角形と四角形（啓林館下P40～P45）〕 〔10 長方形と正方形（東京書籍P99～P101）〕							
〈学習指導要領〉 C 図形		(1) ものの形についての観察や構成などの活動を通して, 図形を構成する要素に着目し, 図形について理解できるようにする。 ア 三角形, 四角形について知ること。 イ 正方形, 長方形, 直角三角形について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	三角形の意味を理解している。	う え か			○	○			90%
②	四角形の意味を理解している。	あ い お			○	○			90%
③	点と点をつないで三角形をかくことができる。	省略		○				○	90%
④	点と点をつないで四角形をかくことができる。	省略		○				○	90%
⑤	四角形の対角線を引いて2つの三角形を作ることができる。	省略	○					○	80%
⑥	四角形の1つの頂点から辺に直線を引いて三角形と四角形を作ることができる。	省略	○					○	80%
⑦	図の中から三角形を見つけることができる。	5	○				○		80%
⑧	定義をもとに, 三角形や四角形を見つけることができる。	い, き	○			○			80%
⑨	定義をもとに, 図形が三角形でも四角形でもないことを判断し, そのわけを説明することができる。	正しい (か)は4本の直線でかこまれていないので四角形ではない。 (く)は3本の直線でかこまれていないので三角形ではない。	○					○	70%
合 計 9 問			5	2	2	3	1	5	81%

小学校第2学年 単元別たしかめテスト13

単元名 [三角形と四角形(啓林館)] [長方形と正方形(東京書籍)]	①~③ (/ 3) 知識・理解	④~⑦ (/ 4) 技能	⑧⑨ (/ 2) 考え方	得点 (/ 9)
2年 ()組 ()番 名前 ()				

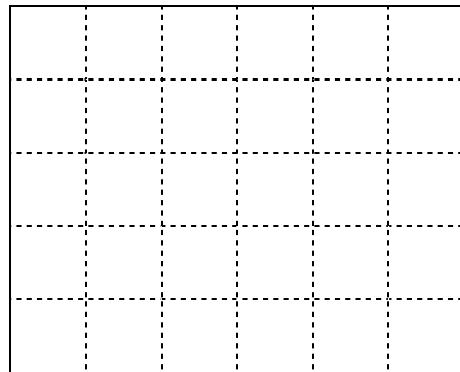
○ つぎに あてはまる かたちの 名前を 下の () から えらんで きごうで かきましょう。

- ① かどが 直角に なって いる 三角形 ()
- ② 4つの かどが みんな 直角に なっている 四角形 ()
- ③ 4つの かどが みんな直角で 4つの へんの 長さが みんな 同じに なっている 四角形 ()
(ア 三角形 イ 直角三角形 ウ 四角形 エ 正方形 オ 長方形)

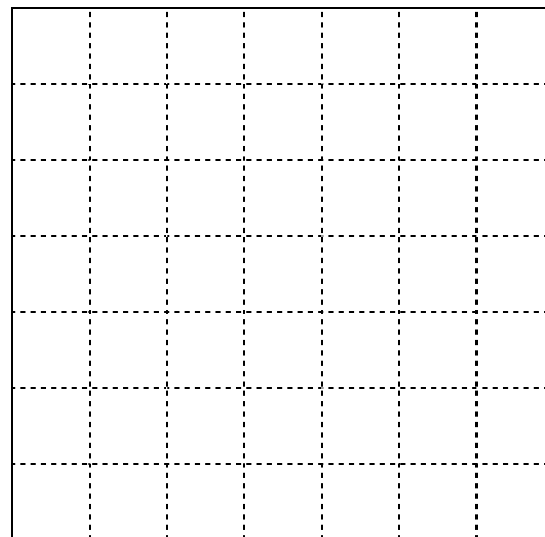
[①~③ 知識・理解]

○ つぎの かたちを かきましょう。(1つの ます目を 1cmとします。)

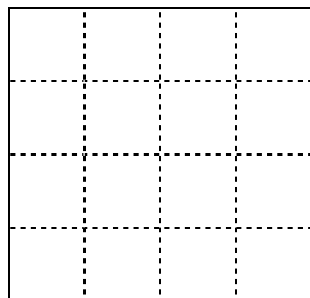
- ④ たて 3cm よこ 4cm の 長方形



- ⑥ 直角になる 2つの へんの 長さが 5cmと 3cmの 直角三角形

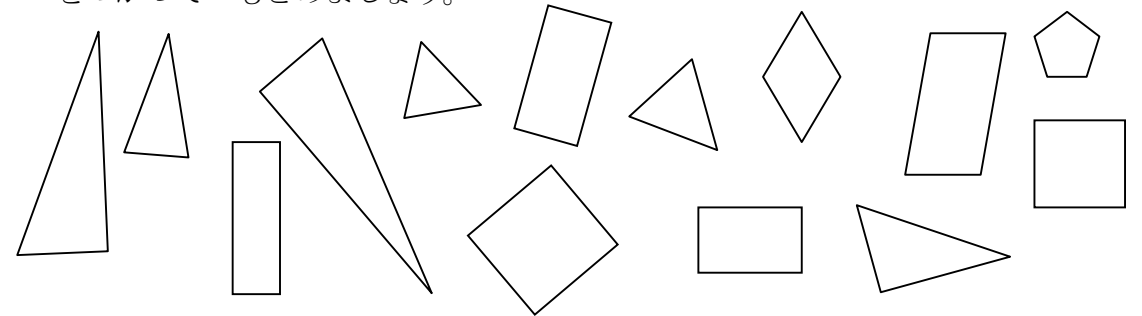


- ⑤ 1つの へんが 2cmの 正方形



○ つぎの もんだいに こたえましょう。

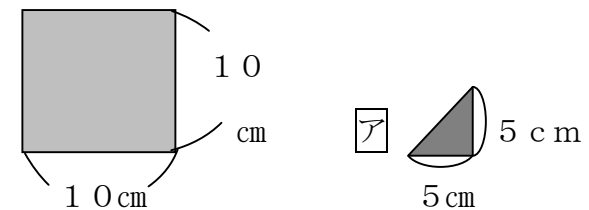
- ⑦ 長方形 正方形 直角三角形は それぞれ 何こあるでしょう。定規や分度器をつかって もとめましょう。



長方形 () 正方形 () 直角三角形 ()

[④~⑦ 技能]

- ⑧ つぎの 正方形に アの 直角三角形を しきつめます。すきまなく しきつめられるかどうか こたえましょう。



(しきつめられる しきつめられない)

- ⑨ ⑧で こたえた わけを 図や ことばで かきましょう。

[⑧⑨ 考え方]

小学校第2学年 単元別たしかめテスト13 出題のねらい及び解答例, 評価の観点, 目標正答率一覧

単元名		〔11 三角形と四角形 (啓林館下P46~P54)〕 〔10 長方形と正方形 (東京書籍P102~P109)〕							
〈新学習指導要領〉 C 図形		(1) ものの形についての観察や構成などの活動を通して, 図形を構成する要素に着目し, 図形について理解できるようにする。 イ 正方形, 長方形, 直角三角形について知ること。							
問題番号	出題のねらい	解答例	評価の観点			問題形式			目標正答率
			考え方	技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	
①	直角三角形の性質を理解している。	イ			○	○			90%
②	長方形の性質を理解している。	エ オ			○	○			90%
③	正方形の性質を理解している。	エ			○	○			90%
④	示された条件にしたがって, 長方形をかくことができる。	(省略)		○			○		80%
⑤	示された条件にしたがって, 正方形をかくことができる。	(省略)		○			○		80%
⑥	示された条件にしたがって, 直角三角形をかくことができる。	(省略)		○			○		80%
⑦	大きさや向きに関係なく, 長方形, 正方形, 直角三角形の特徴をもとに, 該当の形を求めることができる。	長方形 3こ 正方形 2こ 直角三角形 3こ		○			○		80%
⑧	図形を構成する要素に着目して, 正方形に直角三角形をしきつめることができるかどうかを判断することができる。	しきつめられる	○				○		70%
⑨	⑧のように判断する理由を, 図や言葉で説明することができる。	(例) 直角三角形をはしからしきつめていくと, 8枚でちょうど正方形になるから。	○					○	70%
合 計 9 問			2	4	3	4	4	1	81%